

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公表番号】特表2011-523363(P2011-523363A)

【公表日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2011-032

【出願番号】特願2011-507665(P2011-507665)

【国際特許分類】

A 6 1 B	5/083	(2006.01)
A 6 1 B	17/24	(2006.01)
A 6 1 B	5/087	(2006.01)
A 6 1 B	10/00	(2006.01)
A 6 1 B	17/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 B	5/08	1 0 0
A 6 1 B	17/24	
A 6 1 B	5/08	2 0 0
A 6 1 B	10/00	L
A 6 1 B	17/00	3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月22日(2012.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

近位端および遠位端を含み、気管支鏡内に嵌合するようになされているカテーテルと、前記カテーテルの前記遠位端に配設され、肺の1つまたは複数の生理学的パラメータを検出することが可能な少なくとも1つのセンサと、を備えており、

前記センサは、第1のサーミスタと、第2のサーミスタと、ヒータと、を備え、前記第1のサーミスタが前記ヒータの近位側に取り付けられ、前記第2のサーミスタが前記ヒータの遠位側に取り付けられる、肺の生理学的パラメータを査定するための装置。

【請求項2】

前記センサは、酸素センサを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記空気流量センサは、吸気方向および呼気方向の両方の空気流量を測定することができる、請求項1又は2に記載の装置。

【請求項4】

前記空気流量速度センサは、熱線流速計を備える、請求項1～3のいずれか一項に記載の装置。

【請求項5】

前記センサは、pHセンサを備える、請求項1～4のいずれか一項に記載の装置。

【請求項6】

前記カテーテルは、閉塞用バルーンをさらに備える、請求項1～5のいずれか一項に記載の装置。

**【請求項 7】**

前記センサは、データを外部装置に中継する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の装置。

**【請求項 8】**

前記センサは、病状を示す揮発性有機化合物を検出するため構成される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の装置。

**【請求項 9】**

前記カテーテルは、前記カテーテルの前記遠位端で前記センサの近位位置に配設された第2のセンサをさらに備え、前記2つのセンサは、同時に又は略同時に測定することができる、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の装置。